

公開プロセス結果の平成31年度予算概算要求への反映状況

(単位：百万円)

事業番号	事業名	平成29年度 補正後予算額	平成29年度		公開プロセス		平成30年度 当初予算額 A	平成31年度 要求額 B	差引き B-A=C	反映状況		備考	
			執行可能額	執行額	評価結果	取りまとめコメント(概要)				反映額	反映内容		
017	リスクコミュニケーション等の推進に必要な経費	35	35	38	事業内容の一部改善	<p>○ 現在のアウトカム指標は長期的なものとなっており、消費者庁が実施している個々のリスクコミュニケーションにより、どの程度目標に近づいたかの判断が難しい。そこで、例えば、意見交換会への参加者に対するアンケートによるなど、どのような効果を求めるのかを明確にした短期的・中期的なアウトカム指標の設定が必要である。</p> <p>○ 個別の施策について、これまで様々な見直しが行われているが、その見直しによる効果の検証、また次の見直しにどのようにいかされたのかが不明確であり、全体として、施策の実施に計画性が求められる。</p>	36	79	43	—	年度内に改善を検討	<p>○より短期的・中期的なアウトカム指標の設定のため、年度内に、リスクコミュニケーションの会場でのアンケート調査手法等の検討を開始し、来年度以降の事業について、より適切なアウトカムを設定する。</p> <p>○平成28年度に実施した「食品に関するリスクコミュニケーション研究会」において福島県中心から消費地へ重心を移す方針として以降、福島県外でのリスクコミュニケーションの開催数を増やしている。また、食品中の放射性物質に関するもの以外のテーマ（特に健康食品や食品安全の考え方等）での開催数を増やすよう地方自治体等と調整をしながら実施している等、研究会で取りまとめた方針に沿って、計画的に事業を展開している。</p>	
合 計													

注1. 該当がない場合は「-」を記載し、負の数値を記載する場合は「▲」を使用する。

注2. 「執行可能額」とは、補正後予算額から繰越額、移流用額、予備費等を加除した計数である。

注3. 「反映内容」欄の「廃止」、「縮減」、「執行等改善」、「予定通り終了」、「現状通り」の考え方については、次のとおりである。

「廃止」：平成30年度の点検の結果、事業を廃止し平成31年度予算概算要求において予算要求を行わないもの（前年度終了事業等は含まない。）

「縮減」：平成30年度の点検の結果、見直しが行われ平成31年度予算概算要求において何らかの削減を行うもの（事業の見直しを行い、部分的に予算の縮減を行うもの、事業全体としては概算要求額が増加する場合も含む。）

「執行等改善」：平成30年度の点検の結果、平成31年度予算概算要求の金額に反映は行わないもの、明確な廃止年限の設定や執行等の改善を行うもの（概算要求時点で「改善事項を実施済み」又は「具体的な改善事項を意思決定済み」となるものに限る。）

「年度内に改善を検討」：平成30年度の点検の結果、平成30年度予算概算要求の金額に反映は行わないもの、平成30年度末までに執行等の改善を検討しているもの（概算要求時点で「改善事項を実施済み」又は「具体的な改善事項を意思決定済み」となるものは含まない。）

「予定通り終了」：前年度終了事業等であって、予定通り事業を終了し平成31年度予算概算要求において予算要求しないもの。

「現状通り」：平成30年度の点検の結果、平成31年度予算概算要求の金額に反映すべき点及び執行等で改善すべき点がないもの（廃止、縮減、執行等改善、年度内に改善を検討及び予定通り終了以外のもの）